

はじめに

我が国の商店街は、中小商業者・サービス業者等の集積として地域経済において重要な役割を果たすとともに、地域に生活する人々の買い物の場として、人々が交流するコミュニティ活動の場として多様な機能を果たしています。

しかし、多くの商店街においては、郊外型商業施設の増加や少子・高齢化社会の進展と地域内人口の減少、さらに情報化を背景とする無店舗販売の増加等により一段と厳しい対応を迫られています。

こうした中、全国商店街振興組合連合会では、平成24年度及び25年度補正予算事業として、商店街組織が行う継続的な集客促進・需要喚起等のためのイベント事業や商店街マップ・HPによる情報提供、研修会等商店街の体質強化を図るための諸事業に対して助成を行う「地域商店街活性化事業」を実施して来ました。

本事業では、全国から応募のあった中から4,296の商店街事業を採択し、その事業費について助成を行って来ました。事業を実施された多くの商店街では、地域の消費者から高い評価を得て歩行者通行量の改善や空き店舗の減少等に効果を見出しつつあるところです。

そこで助成事業を実施された商店街の中から、助成の終了後も独自の工夫と努力を重ねて当該事業を継続するほか、新たな取り組み策等を講ずることにより、地域生活者等との連携を強化して活性化に結び付けている商店街を取り上げ、組織運営や課題対応の方策等を取材し、事例集として取りまとめたところです。

本事例集には、イベント活動等の成功のポイントや組織運営の在り方等について多くのヒントが含まれておりますので、今後の商店街の活性化や組織活動の強化に向けてご活用頂けましたら幸甚です。

平成29年3月

全国商店街振興組合連合会
商店街基金対策室